



2002～2003年度
R I テーマ

「慈愛の種を 播きましょう」 :Sow the Seeds of Love

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル (国籍・タイ・バンコク)

2720地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキハ別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: beppu4rc@fat.coara.or.jp

理事 後藤 隆
" 梅津ヤヨイ
" 村津 忠久
" 河村 貴雄

理事 森 宗明
" 宮地 一久
" 小堀 裕子

役員 会長 梶田 健治
副会長 後藤 隆
幹事 平野 英壽
会計 岩尾 昭治

SAA 鳴海 淳郎

VOL. 15-№34
2003年3月25日

第 676 回 例 会

編集 小川 雅代

◆点 鐘 12:30

◆体 操 自律神経強化体操

◆R. S. 四つのテスト

◆唱 歌 さくら

◆ビジター 後藤 憲志 (別府北)
河野 通範 (別府東)

◆出席報告

委員長 中島 澄人

会 員 総 数	21 名
本 出 席 者 数	14 名
日 事前メイクアップ	0 名
の 理 事 会 承 認	1 名
出 出 席 免 除	0 名
席 欠 席 数	6 名
出 出 席 率	70 %
前 出 席 率	85 %
々 事後メイクアップ	3 名
回 理 事 会 承 認	1 名
の 出 席 免 除	0 名
訂 修 正 出 席 率	100 %
正 3/11	

連 続 1 回
通 算 619 回 100%

・メイクアップ

事後 後藤(健) (別府)、岩尾、津末 (別府北)
欠席 後藤(健)、河村、木村、溝部、
小川、津末

会長の時間

会長 梶田 健治

自分も含めて皆いずれは来るであろう高齢者時の対応について、私の職業である歯科をとおしての見解を記します。

「高齢になると人の個性は凝縮してくる」と言われている。その人が年々「その人らしく」なることだ。個性が凝縮して固くこわばれば「頑固」、凝縮して光り輝けば「天衣無縫」と評される。どちらにしても「その人らしさ」がはっきりする。年齢が上がるにつれ、実際の年齢よりもずっとふけて見えたり、逆にとても若々しかったり、実年齢と実際に大きな隔たりを感じる場合も少なくな

い。そうした個人差は、身体よりも行動、態度、性格などに大きくみられる。こうした側面は、個人の世界の認識の仕方、個人がその周りの状況をどのようにみているかによって変化するとされる。

個人の認識はそれこそ千差万別で、となると、

加齢に伴って人々の行動、態度、性格がますますその人らしく、他人のものと峻別されてきて当然だろう。加齢とともに、人にその人らしく独自の存在へと成長していく。

人間はこの世界を自分の感情をとおして把握している。その人らしさがその人の感情によって熟成されるならば、感情の存在は高齢者においてのキーワードになりそうである。



幹事報告

幹事 平野 英壽

ご夫人誕生日

鳴海 静子 さん (3月30日)

ご自宅にワインが届きます。

本日は3月28日の当別府中央ロータリークラブ創立記念日を祝し、乾杯致します。

1. 本日の卓話

『創立記念に因んで』 梶田 健治 会長

2. 第16回熊本分区留学生交流会のご案内

日 時 平成15年5月18日(日)

受付9:00～ 閉会16:00予定

場 所 熊本城周辺(ウォークラリー)

慶徳小学校(レクリエーション)

登録料 ロータリアン 2,000円

※登録・詳細希望の方は、幹事または事務局までお申し出ください。

3. 3月20日(木) 14:00～別府市役所に於いて『RI第2720地区 地区大会記念事業ロータリー文庫目録贈呈式』が開催され、西村駿一ガバナーより井上信幸別府市長に80万円の寄付金を手渡されました。当クラブより平野英壽幹事が出席致しました。

4. 3月20日(木) 熊本市内に於いて『次年度地区職業奉仕委員会』が開催され、溝部 仁地区職業奉仕委員が出席致しました。

5. 本日例会終了後、13:40～『第8回臨時理事・役員会』を開催致します。

6. 例会変更お知らせ

中津RC 4月2日(水)の例会は、花見例会の為 同日18:30～大貞公園集会所に時間・場所変更

定款第5条第1節(c)により休会のクラブ

中津RC 4月30日(水)

別府北RC 4月30日(水)

別府東RC 5月1日(木)

7. お祝い

会員誕生日

後藤 健介 会員 (3月28日)

記念品をお渡し致します。

8. 次週の予定

『花見例会』

日 時 平成15年4月1日(火) 18:30～

場 所 焼肉 春香苑

9. 本日の回覧

①『もみじ谷植樹作業』出・欠席

②『別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会』
出・欠席

③『花見例会』出・欠席

④『中津RC』『くにさきRC』週報

10. 本日の配布

① 週報675号

②『“He Profits Most Who Serves Best”について思う』(R情報委員長:鳴海淳郎氏)

スマイルボックス 委員長 小堀 裕子

○ 別府北RC 後藤憲志会員

創立記念日にスマイルいたします。

○ 梶田会長

今日は14回目の創立記念日です。

おめでとうございます。

○ 岩尾会員

毎年二月から始まる所得税の確定申告の繁忙期も漸く終わりました。

経営者の土曜・日曜返上の残業は年を重ねる毎に体にこたえます。然し乍ら今年も何とか健康で職責を果たせた事についてスマイルいたします。

尚ホーム例会に出席出来なかった分については他クラブのメーキャップで補完いたしました。

○ 吉富会員

今月入会の吉富です。

今後も宜しくお願い致します。

○ 鳴海会員

第14回目のクラブ創立記念日を迎えるにあたり、クラブ創立当時の苦勞をしのび、会員皆様さんのご健闘とクラブの繁栄を祈念してスマイル致します。



○ 村津会員

3月30日(日)の「もみじ谷植樹奉仕」に参加される曹友会40名の名簿が今朝届きました。今朝の長期予報は曇です。当日の作業日和を祈ってスマイル。

卒業・新入学の季節を迎え、我が家でも孫娘が芸短大へ、曾孫が中央幼稚園へ、夫々進学が決まりました、これからの楽しい精進の日々を念じてスマイル。

○ 平野会員

当クラブの創立記念日3月28日設立当時メンバーは7人だったそうです。もっともっと会員をふやしたいな！

○ 上妻会員

やっと暖かくなりました。ほっとしています。

○ 森会員

取り合えず戦争のない国日本に生まれ日本で生きている幸せに心から感謝してスマイル。

○ 梅津会員

創立記念日をお祝いいたしましてスマイルいたします。

○ 大島会員

春です。

創立記念を祝しスマイルします。

○ 小堀会員

お誕生日のお祝いありがとうございました。皆さんから、年を聞かれますのでやっと大台(?)にのったと言っています。皆さんの反応が、おもしろいです。

■ 会長卓話

『創立記念に因んで』

梶田 健治

国際ロータリーはロータリー・クラブの連合体で、各クラブは国際ロータリーの傘の下に自由に集まり、「標準ロータリー・クラブ定款」を尊重し、国際ロータリー定款や同細則の枠内で、世界各地それぞれの地域社会の事情に適した計画を立て、活動を行っています。

そして、その手段方法は各クラブごとに独自に工夫されています。従って奉仕活動の数は、クラブの数ほど多岐にわたると言えましょう。つまり、世界中のクラブは夫々が個性のあるクラブであって然るべきで、どこに行っても皆型には

まった、同じ様なクラブであると面白くないでしょう。

各クラブはその地域社会の特色を生かし、更に各クラブが夫々の特色を生かして活動すれば、その地域社会は如何に活発になるでしょうか。

特別代表で当クラブをつくり、新クラブの初代会長になった私は、すべては初めが肝心と思い、とにかくロータリーの基本に忠実に、「早くロータリーになじみ、ロータリーを身につけよう」をテーマに、クラブの基礎づくりに努力しました。

即ち、毎例会の「会長の時間」には努めてロータリー情報を提供し、またロータリー情報委員会の名において各例会毎にタイムリーなテーマをもとにした「ロータリー用語の解説」を用意し、これを全会員に配布してロータリー情報の徹底をはかりました。

そして、次のようなtraining methodを掲げて、別府中央ロータリー・クラブ独自の例会スタイルの樹立をはかりました。

～別府中央ロータリー・クラブがとった方法～

1. 例会場入口でビジターをあたたく迎える。
2. 例会前に太極拳を行って心身の健康に努める。
3. ロータリーソング：歌による楽しいクラブの雰囲気をつくるために、年間プログラムに従ってロータリーソングと童謡・唱歌をうまく組み合わせ、大きな声で歌う。
4. 食事中は例会毎にとくに選曲したBGMを流す。
5. 会長の時間の充実：話の中に必ずR-情報を入れる。
6. 委員会報告：出来るだけ委員会報告を多く出来るよう努力する。
7. スマイル・ボックス：自主申告を原則とし、会員の相互理解を深めるために、会員自身の出来事をすすんで発表することにし、なごやかな雰囲気をつくる。
8. 卓話：お互いを一層よく知るために会員卓話を原則とし、月1回はゲスト卓話とする。
9. 最後まで例会に出席したビジターには会長がとくに感謝の挨拶をする。
10. 「ロータリー用語の解説」を毎例会一項目を原則として作成配布する。



こうして、会員一人ひとりの善意の高揚に努める一方、一人でも多くいわゆる“ロタキチ”をつくることに努めました。そして、これらの人が中心となってクラブに活気が出ることを夢みただけではありません。

その後10数年を経過した現在、色々な都合で会員数は20名に過ぎませんが、20名のうち女性会員が7名で、女性会員の入会は地区では2番目、県下では初めてでした。

この女性会員のいることで、女性でなければ見られない細かい気配りが発揮され、クラブに暖かい雰囲気が出て来ました。

また、小さければ小さいクラブなりに、何とか充実したクラブにしようと努力した結果、いつの間にか次のような伝統的な美風を持つクラブへと成長しました。

～別府中央ロータリークラブ

過去14年間の主要実績～

1. 「鶴見岳一気登山」下山用道標の整備（チャーターナイト記念事業Ⅰ）

この一気登山が将来別府ならではの名物行事として定着することを夢みて出来るだけ協力することに努め、その一環として下山道標を整備した。（1989～90年度に工費約70万円を投資して50本を新設）

2. 養護施設「栄光園」児童に対する愛のワクチン接種（チャーターナイト記念事業Ⅱ）

1989年から1993年にかけて延150人以上の児童に水痘・風疹・おたふくかぜのワクチンを接種し、子ども達の疾病予防に貢献した。

3. 「マルチュラ・クルデリ/山崎 孝ピアノ連弾リサイタル」（創立5周年記念事業）

①入場者約600人、市民の感性を育むことに役立った。②もみじ谷の植樹推進のための奉仕演奏会であり、益金の一部（405,000円）を植樹費用にあてた。③日伊親善をローカルに行ういい機会であった。

4. 将来の美しい町・別府を夢みる「もみじ谷植樹」（創立10周年記念事業）

クラブ発足当初からの継続事業である「鶴見岳一気登山」周辺整備の一環としての「もみじ谷植樹」は、平成2年度（1990～91年度）より市民運動としての「地域にやさしい別府の町おこし運動」にも連動して今年で13年目、植樹本数は4,213本を数えている。

5. 青少年に友愛の楽しみを育むインターアクト・クラブの結成（創立10周年記念事業）

「別府女子短期大学附属高等学校

インターアクト・クラブ」

6. 明日の別府を担う少年少女のための小冊子「油屋熊八物語」発行（創立10周年記念事業）

子どもに夢と感動を与える奉仕は未来への投資であるが、別府観光の父である油屋熊八翁の物語を子ども向けに書き、2,000部発行して市に寄贈した。

資料提供：初代会長 鳴海淳郎会員

